2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	実習
科　目　名	基礎看護学実習Ⅱ(看護過程の展開)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	135　(3)　時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	後期	教室名	各実習施設
担 当 教 員	柏原　弘子	実務経験とその関連資格	看護師 病院等で18年勤務			

《科目目標》

対象を身体的・心理的・社会的側面から捉え、看護過程が展開できる基礎的能力を養う。

《成績評価の方法と基準》

【評価方法】基礎看護学実習Ⅱ実習評価表に基づいて行う
【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満□

《使用教材(教科書)及び参考図書》

ナーシング・グラフィカ　基礎看護学①　看護学概論
ナーシング・グラフィカ　基礎看護学②　基礎看護技術Ⅰ
ナーシング・グラフィカ　基礎看護学③　基礎看護技術Ⅱ　　□

《授業外における学習方法》

事前学習、課題学習を行う。

《履修に当たっての留意点》

看護過程の展開を実践する機会となる。計画・実践・評価することでさらに問題解決施行を発展させていこっことを目指す

実習プログラム

実習期間 時間数	2023年 11月～12月　合計135時間
実習の目的	1)健康障害を持ち、入院生活を送る対象者を身体的・精神的・社会的側面から理解する。 2)看護過程を用いて、対象の日常生活援助が実施できる。 3)看護学生として倫理的に望ましい態度で実習に臨むことができる。
実習の内容	1)対象の入院生活の過ごし方について理解する 2)対象の疾患関する解剖生理、病態、検査、治療、合併症、看護について学習する。 3)コミュニケーション技術を用いて対象と良好な関係を構築できる。 4)得た情報から対象のニード、精神・社会面から必要な日常生活援助を理解し退院後の生活も理解する。 5)対象の一般状態とVS症状から判断し看護上の問題を抽出し安全・安楽・個別性を考えた看護計画を立案できる。 6)計画に基づき看護を実践し、対象反応、事実に基づき振り返りができ、追加・修正した看護が展開ができる。 7)指導・助言を受け入れ主体的に学習に取り組むことができる。 8)自己の報告・連絡・相談健康管、個人情報保護管理ができ他者を尊重した医療従事者との関係が構築できる。